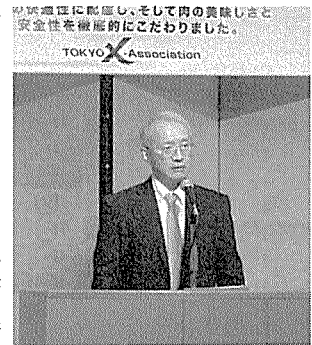


東京Xが総会、植村会長ら再任、15周年記念行事に約350人参集



TOKYO X Association (会長＝植村光一郎)ミートコンパニオン常務執行役員)は11日、京王プラザホテル八王子で通常総会を開催し平成26年度事業報告や27年度事業計画等を承認し、任期満了となった役員改選で、植村会長、中村敏章、小林和人、北村陽三、林実の4理事と理事・監事の佐藤進一氏を再任した。また新副会長に(株)三越伊勢丹フードサービスの道下泰治加工食品事業部長を新任した。

総会で植村会長(写真)は「会員は115社、339店舗で、26年度の東京Xの生産は26戸で7448頭にとどまった。このため認定豚の出荷制限を3度実施するなどご迷惑をかけた。今期は飼料用米を飼料設計に15%入れて2年目だ。オレイン酸の数値が高まり、脂肪に粘りと甘みが増した。東京オリニック・パラリンピックの開催に向け、消費者目線もグローバルとなっているので、Xの生産工程の有利性やおいしさと合わせて、日本の農産物と一緒に相乗効果をアピールしていきたい。そのためにも世界に向けて情報を発信したい」とあいさつ。来賓では都農水産振興財団の高本章雄事業課長が「X豚を維持するため、老朽化した青梅畜産センターの再編整備に取組んでいる。2019年完成を目指し最新型の増築により、維持群の増頭で増産を図りたい」と祝辞(記念のデイスカッションおよび生産・流通業者の交流会は次号)。

【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともにロースは強く、バラ鈍い

天候に恵まれたことしのGWだが、特売需要などについても大手量販店などの売場構成で輸入物が多いケースが散見され、国産物の荷動きはやや盛り上がりには欠けた印象。輸入物の在庫が比較的潤沢なため、国産物にはやや荷余り感がみられた。アイテム別にみると、スペアリブやロースは引き続き強く、スソ物の引き合いも強まっている一方で、バラなどの中間部位の荷動きは鈍い。

【関東の国産豚肉相場】円/kg

生 鮮 物	
カタロース	920～950
ウデ	600～620
ロース	1,120中心
バラ	760中心
モモ	590 ～ 610
ヒレ	1,100中心
冷 凍 物	
カタロース	900中心
ウデ	580～600
ロース	950中心
バラ	850中心
モモ	580中心
ヒレ	1,000中心

フローズンも引き続きロースは引き合い強く、需給はひっ迫している状況にある。また、GW需要でスペアリブが堅調のほか、挽き材需要ではウデなどのスソ物も強い。一方で、チマキは徐々に動きが鈍化。バラについてもチルド同様に荷動きはいまひとつだ。

「訂正」食肉速報12日付11面の関東の国産豚肉現物相場の表に輸入豚肉現物相場の表が入る誤りがありました。再掲載します。